

5月
7月

政務活動調査を実施

5月に熊本市、7月に京都府京田辺市に対して政務調査を行いました。

調査結果

熊本地震の対応、熊本城視察



平成28年熊本地震後立ち上げられた熊本市の復興部の方にお話を伺いました。避難者数は11万人以上でした。準備していた備蓄は最初の大きな揺れでほとんど使い切り、水に困る事態が起きました。また、避難所運営については、職員頼りのところが大きく、地域住民の方との関係性をもっと普段から充実させておく必要性を感じられたようです。平成28年10月には、「地域支え合いセンター」を設置し、見守り活動がなされています。

現在、復旧が進められている熊本城についても現地で説明を受けました。被害の中で大きな割合を占めているのは石垣だということでした。全体としての修復には20年間の目標が掲げられています。

実際に現地へ行き、未だに残る地震の傷跡や復興の兆しを確認できました。



さんさん山城視察

京都府京田辺市にある山城就労支援事業所「さんさん山城」へ視察に参りました。2011年に開所された就労継続支援B型(通所型)の事業所で、「農福連携」にも取り組まれています。2015年には農林水産省・厚生労働省より、「農福連携モデル事業所」として選ばれ、全国から注目の事業所です。定員は20名で、聴覚障がい者の方が多く、他に精神障がい者、知的障がい者の方も一緒に作業をされています。作業内容は農業、食品・菓子加工、カフェ、縫製、工作、販売等です。農業の事業では、地域の特産品を生産、加工、そして販売までの全ての流れを行っておられます。実際に、京都田辺なすやえびいも、鷹の爪の畑を見学させていただきました。縫製の場やカフェも見させていただき、どの現場でも利用者の方々が生き生きとされている明るい雰囲気でした。

自分のできること、得意なことをうまく生かして、無理のない範囲で取り組んでおられ、支援を受ける存在ではなく、自分達で仕事を作り出し、こなしていく姿勢を大切にされていることがとても印象的でした。高島市においてもさらなる発展に今回の視察を活かしていければと思います。

